





















科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																			
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																			
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性										
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	4-4						
18UMUA3258	臨床医学各論Ⅱ	3	日本音楽療法学会が出題している音楽療法士(補)認定試験問題を解くために必要な知識のうち、“臨床医学各論Ⅱ”の関連分野である“小児の身体的および認知面の発達と疾患”について、音楽療法士として理解しておくべき内容について講義を行う。	ヒトの身体の解剖生理、小児の身体的、認知的発達の基本的仕組みを理解する。さらに発達からの逸脱、疾病、特に後に障害の原因となる病態について理解できるようにすることを目標とする。	◎																			
18UMUA3259	音楽療法演習	3	音楽療法の知識や技法を習得し、実践への応用力を養う。	・高齢者への音楽療法の技法を習得する。 ・子どもへの音楽療法の技法を習得する。 ・音楽の諸要素を療法的に活用する方法を知る。 ・多様な症例を想定した素材・教材について研究する。 ・音楽療法実践場面に必要な観察・評価法を学ぶ。						◎		◎	◎		○		○	○						
18UMUA1260	音楽療法実習Ⅰ	1	様々な音楽療法の対象者や方法、および臨床の実践について、体験学習を通して基礎的理解をする。	・高齢者の音楽療法の実際について知る。 ・子どもの音楽療法の実際について知る。 ・病院における音楽療法の実際について知る。						◎		◎	○	○	◎	○	○	○						
18UMUA2261	音楽療法実習Ⅱ	2	社会的体験を通して、対象者および対人援助についての理解を促進する。	・子どもの音楽療法について知る。 ・高齢者への音楽療法について知る。 ・対人援助に必要なマナーや態度を習得する。 ・音楽療法における観察と記録の方法を習得する。						◎		◎	○	○	○	◎	◎	○						
18UMUA3262	音楽療法実習Ⅲ	3	社会的体験を通して、対象者および対人援助についての理解を促進する。 主に高齢者に対する音楽療法実践に必要なとされる基本的な技能、態度を習得する。	・認知症高齢者への音楽療法の実践方法を学ぶ。 ・アセスメントと目標の設定について学ぶ。 ・音楽療法における適切な音楽の選曲や演奏方法について学ぶ。						◎		◎	◎	○	○	◎	◎	○						
18UMUA4263	音楽療法実習Ⅳ	4	専門的な観点から対象者を理解し、自立的に音楽療法の臨床、実践を行う力を養成する。	・対象者へのアセスメントを行う。 ・対象者に合わせた音楽療法の目標を設定し、計画、実施する。 ・適切な音楽を選択し、療法的な効果をもたらせるように活用する。 ・対象者が演奏しやすいように伴奏する。 ・音楽療法の評価を行い、事例レポートを作成する。						◎		◎	◎	○	○	◎	◎	○						
18UMUA3264	音楽療法研究法	3	この授業において、前期は文献調査の方法や音楽療法研究の主な手法について理解を深め、自らの研究テーマを探る第一歩とする。またExcelを用いて統計解析とグラフの作成を行い、データ解析の基礎を身につける。 後期は、音楽療法士として自己形成する目標と方法を確立し、音楽療法の実践を事例研究レポートとしてまとめあげる力を養う。	通年の授業を通して以下の到達目標を設定する。 ①文献や資料をもとに音楽療法の研究方法、研究内容を理解し、自らの関心領域を見つける。 ②量的研究について認識を深め、データの集計や基本的な統計解析から音楽療法の効果を客観的に考察する力を身につける。 ③質的研究について、個々の多様な事例の理解を深め、療法的視点で考察できる力を身につける。 ④音楽療法関連分野の質的・量的研究、新しい研究事例の学習を通じて、対象者のニーズに応じた臨床・研究法を提案できるようになる。 ⑤授業全体を通して自ら設定した研究課題について、研究計画が立案できるようになる。																	◎	○		◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	4-4
18UMUA4265	音楽療法総論	4	音楽療法と関連分野の総合的な知識の修得、および理解の深化を目標とする。	以下の領域における知識を修得する。 ・音楽療法 ・音楽 ・音楽心理学 ・統計 ・研究方法 ・臨床心理学 ・発達心理学 ・基礎医学 ・小論文の書き方	○			○			◎	○	◎	○			○	
18UMUA1266	音楽社会学概論	1	「音楽」を通じて社会を見るための広範な知見を得られるようにする。テキストの購読を中心とし、そこから音楽および音楽社会学を取り巻く状況や、関連する学問分野について学ぶ。	身近な音楽と社会の関係を自ら発見できるようにする。	◎											◎		
18UMUA4267	音楽教育学研究	4	本科目では、近年の音楽教育研究において、どのようなアプローチで課題解決を図っているのかを学び取り、学生自らの問題意識と結びつけながら思考する力を養う。	音楽教育学の理論的な思考法を理解し、自らの考えを述べることができる。	○				◎									
18UMUA1268	環境と音楽	1	音楽と、音楽がおかれる環境に関して多角的に学ぶ。	音楽活動が行われる環境について広い視野をもてるようにする。	◎											◎		
18UMUA3269	生涯学習関係論Ⅰ	3	本授業では、生涯学習に関する基礎知識を学び、生涯学習関連施設で展開されるさまざまな取り組みを知ることで、生涯学習の役割を検証するとともに、生涯にわたって学習することの意義を理解するための基礎を養うことを主な目的としている。	・家庭教育、学校教育、社会教育の役割を知るとともに、それらを幅広く包括する生涯学習の基礎知識を得る。 ・生涯学習関連施設の役割や取り組みから、市民参加者との関係性や連携について学ぶ。 ・生涯学習とボランティア活動、市民活動、NPO活動の関連について学び、生涯学習での学びを主体的に社会に生かすことの重要性について考察する力を身につける。							◎	○						
18UMUA3270	生涯学習関係論Ⅱ	3	音楽を中心とする芸術環境と生涯学習・社会教育環境について学び、両分野をコーディネートできる知識・実践を身につける。	生涯学習領域における音楽の役割を理解する。							◎	○						
18UMUA2271	音楽とマルチメディア	2	本授業では、音楽を鑑賞するという行為に注目し、過去からの変遷を学ぶことで、マルチメディアが音楽の聴取スタイルや音楽内容に変化をもたらしたことを知るとともに、マルチメディアを音楽活動の実践に活用するための視点を養うことを主な目的としている。	・マルチメディアの出現によって、音楽の聴取スタイルや音楽内容自体に変化をもたらしたことを理解する。 ・現在身近なものとして使用する音楽再生機器がどのように発展してきたのか、過去からの変遷について知識を得る。 ・マルチメディアを音楽活動に活用するための方法を提案できる力を養う。	◎						◎							
18UMUA4272	表現技術演習	4	コミュニケーション能力と言語能力を高めるための演習である。音楽を媒体として相互理解をするにしろ、それを取り巻く言語による表現力が長けている方がスムーズに本質に近づく。寡黙なミュージシャンではなく、言語表現力の豊かな魅力的な人間になるための実践演習をする。	適切な言語を使って、心のふれあいができるようにコミュニケーション能力を高める。												○	◎	◎



